

矢場とん カンボジア便り Vol.9



報告 矢場とん 第６班が 2011 年 11 月 28 日～ 12 月２日 カンボジアに行ってきました。

29日の第2校目矢場とんスクール開校式に出席するために矢場とんスタッフ総勢25名でサーマティペップ村に行ってきました。
1校目から車で30分ほどの距離にあります。人民党副大臣のサイ・チョンさんを始め500人の生徒や2000人を超える村の人々が私達を向かえてくれてその期待感と雰囲気に圧倒。緊張の中、無事式典が行われました。子どもたちが日本語で「こんにちは!」と大きな挨拶をしてくれ、新たな感動で胸がいっぱいになりました。こどもたちと交流会をし、その後1校目の矢場とんスクールにも1年ぶりに訪ね、新しく入った子どもたちや卒業生たちと楽しいひとときを過ごしました。





30日には矢場とんスクールの第3校目の候補地であるスワイポーク村にも視察に。プノンペンから車で1時間かかる田んぼの真ん中にあり、迎え待つ村の人々の歓迎ぶりからも新しい学校への期待感が解りました。











この村の収入はお米やカゴを作ることぐらいしか無く、その日の生活費位にしかなりません。カンボジアも都市部では数年前とは打って変わり都会となりつつあります。しかし、少しでも都会を離れるとこのスワイポーク村のようにまだまだ水不足で、電気も通っていません。まず、新しい学校を建てるために土地を購入することから始めなくてはならず、生活用水のため池の整備もしていかなければなりません。日本では蛇口を捻れば水が出ます。教育を受けることができます。当たり前のことを改めて感謝する機会をいただきました。この想いをカンボジアの子どもたちに少しでも届けるため矢場とんはこれからも活動を続けていきます。皆様のご理解、ご支援をお願いいたします。

矢場とんスタッフ

矢場とんカンボジアスクール



国の名前を日本語で伝え、こどもたちからはクメール語で教えてもらいました。さぁ、国当てクイズ!



サッカー大好き!はだしでボールをけるのもお手の物。



株式会社やまもと様より、バットと野球のボールが贈られました。



初めて体験するバルーンアート。笑顔で挑戦。



折り紙交流ではカブトを折ったり紙飛行機を作って外で飛ばして楽しかった!



リコーダーの音階はまだまだ。でもリズムをとったり拍手で盛り上がるのは万国共通。



毎回、女の子に大人気の大縄跳び。跳ぶのがとても上手!



ドッジボール大会。言葉が通じなくても真剣になれば、解りあえるって本当。



矢場とんスタッフからのレシーブを受け止めてね。



こどもたちと目を合わせ直接触れ合うことでコミュニケーションは繋がるのを実感。



中日ドラゴンズの英智選手より寄贈されたうんてい。元気に遊んでくださいね。



大矢鋳造株式会社の大矢会長より学校に大きな時計が贈られました。早速教室に飾りました。





募金にご協力、ありがとうございます。

＜寄贈＞
リコーダー、ハブラシ、せっけん：愛知産業大学工業高等学校様
サッカーボール：黒岩唯一様、株式会社ロコフットサルパーク様
マイバック：ネクスタ株式会社様
ビブス、下敷き、クリアファイル：中日ドラゴンズ様
帽子、ドラゴンズノート：中日ドラゴンズ選手会様
ドッジボール、バレーボール、グローブ：カッセイ食品株式会社
ハブラシ：平和不動産株式会社
ボールペン、ノート、ラーメン、種：寄付金